

(公財)全国高等学校体育連盟 研究大会 発表題 提出順序

(公財)全国高等学校体育連盟研究部 H29.1.11

年度			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
開催地			石川	岡山	山形	兵庫	鹿児島	栃木	岐阜	徳島	宮城	富山	島根	山梨	滋賀	長崎		
地域	ブロック	都道府県	北信越	中国	東北	近畿	九州	関東	東海	四国	東北	北信越	中国	関東	近畿	九州		
東	北海道	北海道	1			2				3				1				
		青森		2					3				1					→
	東北	岩手			2					1				2				
		宮城			3					1			2	←	←		3	
		秋田	1			2					3					1		
		山形		1			2					3					1	
		福島	3			1		2			2					3		
	関東	茨城		2			3			1	←				2			
		栃木		3				1				2						3
		群馬					2			3					1			
		埼玉	2			3			1 ②				2				3	←
		千葉			1				2 ①				3					1
		東京					1			2				→	3			
		神奈川	3					1		2								
山梨		1					2				3					→		
中	北信越	新潟	2			3				1			2	←				
		富山			2				3			1	←				2	
		石川	1	2			3				1					2		
		福井		1			2				3					1		
	東海	岐阜			2					3				1				2
		静岡			1					2				3				
		愛知	1				2				3					1		
		三重		3				③	1			2	←				3	
		滋賀		3			1				2					3		
		京都		2				3				1				2	←	
	近畿	大阪	1			2				3			1	←				
		兵庫	2			3					1				2			
		奈良			2					3				1				2
		和歌山			1				2				3					1
西	中国	鳥取		2				3			1	←				2		
		島根			3			1				→	2				3	
		岡山		1			2					3				1		
		広島	3			1					2			3	←			
	四国	山口			2				3					1				
		徳島		3			1			2	←				3			
		香川			1					→	2			3				
		愛媛	←			2					3					1		
	九州	高知	←			3					1				2			
		福岡		1				2					3					1
		佐賀			3				1				2					3
		長崎			2				3				1					2
		熊本			1					2				3				
		大分	3				1					2			3	←		
宮崎		3			1					2				3				
鹿児島	2				3 ①					1			2	←				
沖縄		2			3					1					2			

<ブロック提出 発表題数>	発表題数																
	1競技力向上	5	5	5	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	2健康安全	4	6	6	5	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3活性化	5	5	4	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	

全国高体連研究大会・研究発表題提出順序について(申し送り事項)

1.方針

- (1) 各都道府県は、4年に一度担当する。
- (2) 各都道府県は、第1分科会→第2→第3→第1の順番で研究発表を行う。  
第1分科会「競技力の向上について」(競技力)  
第2分科会「健康と安全について」(健康安全)  
第3分科会「部活動の充実について」(活性化)
- (3) ローターション枠は、各分科会4題ずつとする(他は公募とする)。
- (4) 開催都道府県の属するブロックが発表できるよう配慮する(うち1題は開催県の発表)。
- (5) 公募による発表を受け付ける。
- (6) 発表に際しては、活性化委員会で検討を行い修正等依頼する場合がある。

※方針の意味

- (1) 「3地域、9ブロック、47都道府県」の負担の均一化、機会均等を図る。
- (2) 大会を開催する「ブロック及び都道府県」の認知度を高める。
- (3) ローターションにより、都道府県研究部の研究活動の活性化を図る。
- (4) 公募制の導入により、研究活動の活性化を図る。  
注1) 公募による発表を、丸数字(①②③)で示した。  
注2) 発表演題数は、公募による発表も含めた。  
注3) 4年周期のローテーションから移動したところは矢印で示した。  
注4) 移動調整により発表した時は、その年から4年のカウントが始まる。

2.実施時期

- ・平成9年度(秋田県)全国高体連研究大会から実施する。
- ・平成22年度(兵庫県)全国高体連研究大会から修正し実施する。